

R6 年度認定こども園百華保育園

自己評価結果

1、本園の教育目標

◎活動体験を十分に積み重ねる

- ・子どもが主体的、自発的に考えを決めて遊ぶことができるような環境を整える

◎やさしさ、おもいやりがあふれる子ども

- ・グループ活動、縦割り活動により、互いに思いやり助け合い、話し合いながら協力して活動する力を育てる

A たいへんよい

B よい

C 一部検討を要する

D 改善を要する

2、評価項目の達成及び取組状況

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			・重点目標を全ての職員が共通理解の上で進めてく。 ・教育・保育目標、まことの保育の読み合わせなどを行い、月1回、再確認を行っている。 ・子どもが自分で選んだり、遊びを決めたり、子どもが主体的に活動できる保育になってきている。 ・保育参観で子どもたちが主体的に遊ぶ姿を見てもらえる機会にしていきたい。
	(2)重点目標は、当園や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4)重点目標は、前年度の反省を生かしているか。				○	
	(5)重点目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。				○	
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			・保育室等、環境を変えたい思いがあっても、他業務に追われなかなか取り組めないところが実情。 ・折り紙、セロハンテープの使い方などルールなどあると良いと思う。 ・環境構成は子どもの様子や発達などに合わせて設定していけるよう、各クラスに発信してい
	(2)認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。			○		

	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			く声かけが弱かった。 ・他園を見学し参考にさせてもらいながら自園の環境整備に努めていきます。
	(5)評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。				○	
日時程	(1)1日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			発達に合わせたプログラムとなっているが、実際の取り組みとズレが生じることもあるので、子どもの姿を大切にしながら進めていきたい。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			・アンケートから保護者の意見も受けつつ行事のねらいをもとに活動できた。クラスによってはねらいに合っていないところも見られたので、サポートしながら進めた。 ・保護者の願いが保育から読み取ってもらえるよう、日々の保育を進める。 ・日々の保育が行事に活かせるよう、進める。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか		○			年度始めに、係や仕事分担を行い、それぞれが責任をもって取り組めた。職務の内容についても、協力できる体制を実施した。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		○			
		(3)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			・毎週水曜日を職員会議の日とし、保育の実践、給食等の情報交換や共通理解を図る場となっている。しかし、議題によっては、もう少し密な情報交換や打ち合わせの進め方も検討していきたい。また、若い職員の意見を引き出せる雰囲気作りにも工夫が必要。 ・司会や書記を分担するなど会議への参加の仕方を工夫した。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か		○			

	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		・個々の子どもの実態に合わせた目標や援助について実践している。
		(2) 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか、		○		・乳児・幼児共に情報交換する機会を定期的に設け、お互いの改善点・課題を話し合いより良いチーム保育へとつなげていきたい。
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		・子どもたちの育ちや姿から次への保育へつながるように振り返りを大切に実践していく。
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価・諸記録(帳簿類)を集積しているか		○		
	保 険 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		・毎月1回、多様な災害を想定した避難訓練を実施している。防災・危機管理意識を高めるために、消防士の方を招いたり、年長児は幼年消防にも参加している。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	○			・不審者訓練では、警察の方による指導の下、訓練を実施している。また、非常通報装置を設置しました。
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
研 究 ・ 研 修	園 内 研 修	(1) 園内研修の計画・運営は適切か。		○		・園内外の研修を実践し、子どもの発達段階に応じた理解を深めることができ、日々の保育実践を客観的に振り返る良い機会となりました。
		(2) 園内研修、研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		・ケース会議においては、より効果的な情報共有と多角的な視点での検討を目指し、会議で使用する用紙の見直しを行いました。
	園 外 研 修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○		

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価							
項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				・個人情報保護方針に基づき、職員は、保守義務を遵守しているが、更なる徹底が必要。重要事項説明書の中で保護者に個人情報の取扱いに関する説明をし、同意書を提出してもらっている。
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	○				
施設・整備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			・施設設備については、毎日の清掃等の時に点検し、安全で衛生的な環境を整えている。遊具については、安全点検を職員が行ったり、園内研修で遊具や用具の見直しを行い、危険箇所の共通理解をしたり、子どもたちが使いやすいように改善した。危険箇所については業者に依頼し、早急に対応するようにしている。 ・日中の施錠を徹底し、非常通報装置のステッカーも貼り、不審者の抑止を図った。
		(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか		○			
		(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
		(4)掲示版、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・監事に年 1 回監査を受け、監査報告をしている。
施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			・園児理解については、綿密に小学校と情報交換することができ、就学に向け子どもたちがスムーズに移行することができる環境をつくることができた。 また、今後架け橋プログラムのアプローチカリキュラムを作成するうえで、職員の情報交換だけではなく、年長児も含め、今後交流していく必要がある。 コロナ以降、高齢者との交流はなくなっている。今後、ビデオレターや手作り品などの交換などできることを検討していく。	
	(2)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○				

開 か れ た こ ど も 園 づ く り	家 庭 ・ 地 域 社 会 と の 連 携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか、。			○		・保護者以外を対象とした参観は、安全面やプライバシー等の観点から、なかなか難しいと考える。 ・地域の方との交流は今後の課題である。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)乳幼児の興味や関心にもどづいて地域社会・その他の施設と交流している。		○			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子 育 て 支 援 の 推 進	(1)地域の子育て支援を推進する施設として、地域に住む親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定をしているか。		○			・個別懇談等を行い、保護者の意見や相談に対応している。 ・園開放(毎週木曜日)、一時預かり事業を実施している。 ・子どもの発達については、市の保健師や発達相談室と必要に応じて連携を取り、情報交換を行っている。 ・保護者を対象とした学習会を今後検討していく。
		(2)「子育てについて」など、園や地域の保護者を対象とした学習会の機会を設定しているか。			○		
		(3)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(4)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。		○			
	情 報 の 発 信	(1)園だより、クラスだより、HP等で施設の情報を発信している。	○				・毎月クラス便り、園だより、給食便り、保健便り等作成し、保護者に配布している。子育て支援の情報等、ホームページで発信したり、ラインで知らせたりしている。 ・地域の回覧板を活用していくことを考えている。
		(2)行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外 部 評 価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映している				○	・苦情解決体制について、職員全員に周知してあるマニュアルに沿って行われている。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映している。			○		

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

認定こども園百華保育園の6年度自己評価結果は、教育目標である「活動体験を十分に積み重ねる」と「やさしさ、おもいやりがあり人を大切にする子ども」の育成に向け、概ね良好な取り組みが確認されました。

保育計画の編成と実施においては、重点目標の職員間での共通理解が進み、子どもが主体的に活動できる環境整備が評価されています。しかし、保育室等の環境整備にはさらなる工夫と他園視察を通じた改善の余地が示されました。行事については保護者の意見も取り入れつつ、ねらいに沿った活動が行われているものの、日々の保育と行事との連携強化が今後の課題です。

運営面では、職務分担が明確で協働体制が整っている一方、職員会議における若手意見の引き出し方や、乳幼児・幼児間の情報交換機会の充実が今後の課題として挙げられています。保健・安全指導では、多様な避難訓練や不審者対策の強化が図られ、安全な環境づくりに努めていることが評価されました。

研究・研修では、園内外の研修を通じて保育の振り返りが深まっているものの、ケース会議の用紙再検討など、さらなる改善点が見られます。情報管理については個人情報保護の徹底が求められ、施設整備では遊具点検や施錠の徹底など、安全への配慮が継続されています。

開かれたこども園づくりとして、小学校との連携による就学支援は評価される一方、高齢者との交流の再開や地域の方との交流機会の創出が今後の課題です。子育て支援では、園開放や一時預かり事業が実施されており、保護者向けの学習会の検討も進められています。情報発信は充実していますが、地域の回覧板の活用など、さらなる周知方法の検討も示唆されています。

全体として、各項目で積極的に取り組んでいますが、職員間の連携強化や環境整備、地域との交流など、さらなる発展に向けた改善点が明確になっています。

4、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育士間で環境構成に関する情報共有や意見交換の機会を増やし、子どもの発達や遊びの状況に合わせた環境設定ができるよう支援を強化する。	【環境構成に関する振り返りの習慣化】 毎日「その日の環境構成で、子どもの発達を特に引き出したのはどのコーナーか?」「なぜその遊びが生まれたのか?」等をチームで振り返り、翌日の計画に活かすサイクルを確立する。 他の質の高い保育施設を訪問し、その環境構成の工夫を実際に見て学ぶ機会を設ける。
乳児・幼児クラス間で定期的な情報交換会を設け、それぞれのクラスの子どもの発達状況や課題、保育実践について共有し、より良いチーム保育につなげる。	リーダー会議を設け「0歳児から5歳児の育ちにあたって、重点的に育成したい力(例:自分で食事ができる力、友達とトラブルを乗り越える力)」等といった合同目標を設定し、それを日々の保育に落とし込む機会を週1回設ける。